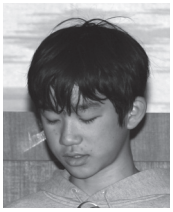
私たちの意見を市政に

牛久市小学生模擬議会

牛久市の将来を担う小学生に、地方自治の仕組みを学び、市の政策決定の過程や市議会の運営方法などを体験し理解しながら、牛久市のまちづくりへの参画意識を持ってもらうために1月22日、「平成19年度牛久市小学生議会」を市議会議場で開催しました。市内各小学校の5・6年生14人が参加し、小学生から市政に対し新鮮味あふれるさまざまな質問が出され、市執行部も定例議会同様に熱心に答弁しました。



○交通事故防止対策について…上城拓実さん

市長　市では、皆さんが安心して通行できる道路づくりをしているほか、学校やPTA、そして行政区の役員の方々と協力し、通学路などの点検を実施し、危険な個所があれば直ちに改良工事を行ったり、看板を設置したりして危険の解消にも力を入れています。今後も市民の皆さんのご意見を参考として、事故のない安全なまちづくりをしていきたいと考えています。

○児童クラブについて…大久保絢里さん

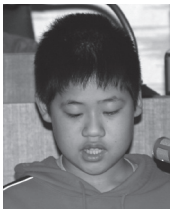
教育長　市では、1年生から3年生までの約400人の児童が児童クラブに入っています。去年からは奥野小学校で4年生も利用できるようになりました。今年の4月からは、準備のできたところから6年生まで入れるようにしていきます。今後、児童クラブの一時的な利用も可能にして、だれもが行きたい日に利用できるような児童クラブにしていきたいと考えています。

○ペットについて（捨て犬や捨て猫を減らすための対策）…関智子さん

市長　市では、飼い主の皆さんに、狂犬病の予防注射のときに避妊や去勢をするように、つまり子犬などが簡単に生まれないように手術をするようお願いしています。今後も捨て犬、捨て猫を減らすため、市内の飼い主の皆さんに命を大切にするよう呼びかけていきますので、皆さんもお家の方と、命の尊さ、ペットへのかかわり方について話し合ってみてください。

○障害者施設の整備について…古屋秀之さん

市長　市内には、障がいのある方達が集団の中で日常生活に必要な動作を訓練することができるような施設として、「牛久市総合福祉センター」と、「障害者通所施設みのるの郷」があります。また、障がい者に配慮したまちづくりとして、牛久駅に障がい者用エスカレーターが設置されており、現在、駅構内にエレベーターを設置する工事が進められています。誰もが安心して暮らせるまちづくりを、これからも推進していきます。



○牛久沼などの自然環境保全について…篠田明宏さん

市長　市内には、まだ多くの平地林や里山などの緑地や、牛久沼や小野川、稲荷川などの水辺が残されています。これらの自然環境は、人々の生活に潤いを与えるとともに、都市の環境をきれいにする機能を持っており、市民の財産として、整備・保存することが重要となります。これからも、地球環境保全のために、市民の皆さんといっしょに、積極的に取り組んでいきます。

小学生模擬議会議員

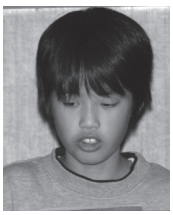
大久保絢里	牛久小学校
松村南月	牛久小学校
橋本さと子	岡田小学校
上城拓実	岡田小学校
関　智子	奥野小学校
福島悠太	奥野小学校
古屋秀之	神谷小学校
白石はる紀	神谷小学校
篠田明宏	牛久第二小学校
大木靖子	牛久第二小学校
関根百香	中根小学校
美齊津弘太	中根小学校
田中　駿	向台小学校
新屋鈴華	向台小学校

（敬称略）

牛久市小学生模擬議会

○まちづくりについて…関根百香さん

市長　市では、大きな工場の誘致を行って活気のあるまちづくりや東部地域に消防署を建設するなど、安全なまちづくりに取り組んでいます。また、魅力的で元気なまちづくりとしては地域のコミュニティーを豊かにして、市民一人ひとりが協力し活動できるまちづくりの一員とした、市民主体による「住みたい」まちづくりに努めています。



○国際交流について…田中駿さん

市長　市では、国際交流協会のボランティアの方々による外国人のための日本語教室や、外国人講師による世界家庭料理の会、国際交流サロンの運営など、市内に在住の外国人と広く市民との交流を図っています。これからも国内外を問わず国際交流を積極的に進めていきます。

○歩道の設置について…松村南月さん

市長　現在、市は通学路の整備として歩道設置事業を進めています。牛久市の道路は770kmあり、舗装されている道路は497kmです。歩道がない道路については路側線(ライン)を引き直したり、着色などで皆さんの安全を確保するよう対応していきたいと考えています。

○牛久市における市民税の活用について…橋本さと子さん

市長　市で18年度に使われた予算は約340億円。市民生活を守るため、あるいは市の発展のために使われています。この金額のうち教育経費は約26億5千万円で、皆さんが通っている小学校に関するお金は約5億3千万円となっており、この予算を基に小学校のさまざまな事業や施設の整備が進められています。

○文化財を守るための取り組みについて…福島悠太さん

教育長　市には、「牛久市文化財保護計画」があり、これをもとに文化財を守る仕事をしています。文化財を知って牛久の昔の姿を知ることは、これからの牛久を考えるうえで大切なことです。市民の皆さんの大切な文化財を守り、次の時代へ伝えていけるよう努力していきます。

○災害対策について…新屋鈴華さん

市長　市役所では、大きな地震が発生した場合、迅速に被害状況を把握し、消防、警察、自衛隊など他機関の応援を得ながら人命救助や消火活動にあたり、避難所では食料や飲料水、生活必需品などを配布することになっています。日ごろから、危険個所はどこか、地震が発生したらどのように身を守り行動するかなどについて考え準備をしておくことが何よりも大切です。皆さんも各家庭で防災対策の推進をお願いします。

○牛久市の学習施設について…大木靖子さん

教育長　数年前までは、皆さんがいつでも見学できる民俗資料館が市役所内にありました。しかし建物が古くなり使えなくなったため、展示していた古い道具は、女化青年研修所へ移され、保存することになりました。これからは、皆さんに見学していただいたり、体験学習ができるような場所を見つけたいと考えています。

○公園遊具の安全点検について…美齊津弘太さん

市長　市内の公園については、市の職員が定期的に遊具の点検を行っています。点検して遊具に危険があると思われるとき、また壊れた遊具を発見したときには、直ちに利用中止としたり、一時的に取り外すこともあります。今後も皆さんが安心して遊べるよう努めていきます。

○少子化対策について…白石はる紀さん

市長　市では、子どもにかかる医療費の負担を少なくするために、親の収入に関係なく、小学校入学前の全ての児童に対し医療費を助成することや、小中学生の入院費に対する助成を実施しています。市内に住む皆さんと共に、地域全体で子育て中の親子を応援するような、温かみのあるまちにしていきたいと考えています。